

～構成団体～
 連合長崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全労済
 県生活協同組合連合会



一発行所
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発行日 隔月1日
 発行責任者 桧田憲二

2013年度 南部労福協研究集会



南部労福協は10月15日(火)14時～16日(水)11時45分まで福岡市のアークホテルにおいて120名の参加者のもと標記研究集会を開催、長崎からは18名が参加した。

- 冒頭主催者を代表して森光一会長があいさつした。挨拶の要旨は次の通りである。
- ① 日本経済はアベノミクス効果により上向きと言われているが、その実感はなく、円安による物価上昇で生活必需品の高騰、電気・ガス料金の値上げなど労働者を取り巻く環境は厳しさを増している。
 - ② 安い賃金で雇用できる非正規労働者は、現在35.2%の状態より更に増加傾向にあり、若年労働者は結婚すらできない環境である。
 - ③ 私たち労福協は、「弱っている人に力を与え」「悩んでいる人に解決の糸口を与え」「苦しんでいる人に手を差し伸べる」事が原点である。
 - ④ 今後も労働団体・労金・全労済・生協の福祉事業団体を中心に、労働者や高齢者を取り巻く課題に積極的に取り組んでいく。

続いて実施した【講座内容】は次の項目である。

▲講義1 「人は知識だけでは、自分のマネープランを見直さない!?!」

講師：ファイナンシャルプランナー 宮越 肇氏
 講師は、長年組合の顧問F Pを経験して気付いた

点についての講義であった。

▲講義2 「脱法ハウス問題と住まいの貧困」

講師：特定非営利活動法人自立生活サポートセンターもやい 理事長 稲葉 剛氏
 (住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人)

最近テレビ・新聞などでクローズアップされている「脱法ハウス問題と住まいの貧困」について講義を受け、生活者の「最後のセーフティネット」の弱さを痛感したところである。

▲講義3 「労働団体・事業団体の連携について」

講師：中央労福協 渡邊 和夫 副会長

「労働団体・事業団体の連携について」中央労福協は「労福協の理念と2020年ビジョン」の具体化に向けた取り組みについて、そのまとめについて、説明と問題提起を受けた。

▲特別報告

①労働金庫の課題と展望 講師：九州労働金庫常務理事、片山鉄郎氏、②今後の事業推進に向けて 講師：全労済西日本事業本部、総務部長、寺下博康氏より喫緊の課題と今後の取り組みについて、それぞれ考え方と問題提起を受けた。

▲最後に、福岡県労福協、大原始専務理事の挨拶で閉会した。なお、アンケートを実施したところ、集約結果は全体的に良好であった。



2013年度 勤労者福祉の充実・強化を求める県に対し「要請書」提出

県労福協は11月28日(木)10時30分出島交流会館会議室にて「2013年度 勤労者福祉の充実・強化」を求めて長崎県に「要請書」を提出した。

【長崎県側出席者】

池内潔治(次長兼雇用労政課長)、野嶋克哉(福祉保健課長)、諸岡俊幸(食品安全・消費生活課長)、森川憲太郎(雇用労政課参事)

【長崎県労福協側出席者】企画・政策委員

(佐竹・坂本・川田・岩永・西角・日高・舛田)

冒頭、双方の自己紹介後、佐竹委員長から池内次長兼雇用労政課長に要請書を手交した。要請書提出にあたり佐竹委員長が挨拶を述べた後、舛田事務局長が「要請書」の概要について説明した。特に強調したのは、①格差・貧困社会の是正、セーフティネットの強化、②新たな生活困窮者支援制度に向けた体制整備、③多重債務対策、④消費者行政の充実強化について、である。その後、若干の意見交換をおこなったあと、池内潔治(次長兼雇用労政課長)の挨拶を受け閉会した。なお、12月末を目途に文書での回答を求めた。



▲要請書を手交しする佐竹、企画政策委員長

中央労福協第61回定期総会開催される

2014~2015年度の活動方針等を採択

中央労福協は11月29日(金)13時30分より東京ホテルラングウッドにおいて第61回定期総会を開催し、2014~2015年度の運動方針等を全員一致で決定し



た。東日本大震災の支援を引き続き進めるとともに、労福協「2020年ビジョン」の折り返し点に当たり労福協の歴史・理念、役割を再認識し、これから2年間「連帶・協同でつくる安心・共生の福祉社会」への基盤、システムづくりに重点を置いて取り組む事を全員一致で確認した。

総会には159名の代議員、20名の傍聴者を含め179名が参加。冒頭主催者を代表して古賀会長が挨拶した。挨拶要旨は次のとおりである。

(1)中央労福協は、2009年結成60周年を契機に新しいビジョンとして向こう10年先を展望した労福協の理念と2020年ビジョンを提起し、労福協が進む方向を皆さん方と共有化した。

(2)連帶・協同でつくる安心・共生の福祉社会を目指して連帶経済の領域拡大、貧困や社会的排除を許さず、参加が保障される社会福祉に向けて全国の仲間と共に取り組みを進めてきた。

(3)2014年は中央労福協結成65周年に当たる。労福協2020年の取り組みの具現化の折り返し点でもある。ビジョンの実現に向けて運動の力量が問われることになる。

(4)労働者福祉の課題は山積しており、これまでの歴史・理念役割を再確認しつつからの2年間を「連帶・協同でつくる安心・共生の福祉社会」への基盤、システムづくりに重点を置いて取り組みを進めなければならない。

(5)また。所見として、2012年の国際協同組合年の取り組みについてその必要性について訴えた。更に、共助を最も必要としている人達が共助のしくみに、どのようにしたら参加手段がとれるのか、真剣に考える必要があり、具体化していく時期に来ている。労働組合と協同組合が連携をしできるところから行動に移していくなければならない。

(6)こうした問題意識の元で、「労働団体・事業団体

連携行動委員会」を設置し、それぞれの団体の取り組み、課題、今後の具体的な事項について論議を進めてきた。そのまとめとして①協同事業の基盤強化に向けた利用促進、②労働者福祉のウイングの拡大を目指す「共助拡大運動」であり、この課題を重視して取り組む。また地方労福協においても協議の場を設定し、地域での拠点づくり（ライフサポート友の会）のモデル地域設定に着手するとした。



▲来賓挨拶する高木義明民主党代表代行

長崎県スポーツ大会開催

優勝は連合長崎地協Bチーム



県労福協は、10月20日(日)諫早運動公園において、第30回長崎県スポーツ大会（グランウンドゴルフ大会）を開催した。離島を除く県下各地より30チーム267名（内子供48名）が参加。午前10時開会、森会長挨拶後、池内潔治氏（次長兼雇用労政課長）、

大久保潔重氏（民主党代表代行）、城田拓治氏（社民党副代表）からそれぞれ挨拶を受けた。

成績結果は、優勝：長崎地協B、準優勝：電力ユニオンGG、3位：全労済A。ブービー賞（長崎交通労組B）、ホールインワン16名であった。

昨年まで雨にたたられる事の多かった県労福協のイベントも、素晴らしい秋の好天に恵まれ、グラウンドゴルフを通じて家族を含めた働くものの親睦と交流が図れた。改めて諸準備にご協力いただいた長崎交通労組、スポーツレク委員、関係各位に御礼申し上げたい。



▲優勝した連合長崎地協Bチーム



▲長崎国体を控え、今回は初めて、「準備体操に県実践アドバイザー「江頭郁子氏」にお願いし「元気アップ体操」を取り入れた。
講師に合わせ準備体操を楽しむ参加者

労福協チャリティゴルフ大会

チャリティ募金103,000円集まる！

県労福協は10月17日(木)喜々津カントリー倶楽部、県北では11月12日(火)佐世保カントリー倶楽部においてチャリティコンペを開催、合わせて98名(喜々津/65名、佐世保/33名)の参加を得た。

チャリティ金額は皆さんのご協力により103,000円の募金が集まった。(三菱長船支部より5,000円の寄付あり)

成績は、優勝:松永幸男(労金友の会諫早)、準優勝:山下金守(同盟友愛連絡会)、3位:元土肥静雄(労金友の会県庁)。

一方、県北地区は、事務局の柳田が優勝して、申し訳なく思っています。準優勝:横尾博道(労金退職者の会)、3位:近藤安次(郵政退職者の会)。

なお、この募金は2014年5月23日に開催される定期総会において、「長崎県障がい者社会参加推進センター」へ「使用済み切手」と合わせて寄贈することとしている。



▲県労福協役員による始球式



▲元土肥(3位)、松永(優勝)、山下(準優勝)



▲佐世保地区労福協の面々

各地区労福協だより

大東地区労福協総会開催

■大東地区労福協は、10月18日(金)大村市勤労者センターにおいて第17回定期総会を開催し、2013年度運動方針が満場一致で承認された。

諫早地区労福協総会開催

■諫早地区労福協は、11月15日(金)諫早市勤労者福祉社会館において第16回定期総会を開催し、2013年度運動方針が満場一致で承認された。

佐世保地区労福協総会開催

■佐世保地区労福協は、11月21日(木)労働福祉センターにおいて第24回定期総会を開催。2013年度運動方針が満場一致で承認された。

上五島地区労福協総会開催

■上五島地区労福協は11月29日(金)新上五島町石油備蓄記念会館において第13回定期総会を開催。2013年度運動方針が満場一致で承認された。

五島地区労福協総会開催

■五島地区労福協は11月30日(土)福江総合福祉保健センターにおいて第22回定期総会を開催。2013年度運動方針が満場一致で承認された。

対馬地区労福協総会開催



■対馬地区労福協は、11月6日(金)対馬市役所別館において第13回定期総会を開催。2013年度運動方針が満場一致で承認された。



諫早地区労福協スポーツ大会



▲和気あいあいミニバレーで交流

諫早地区労福協は、10月6日(日)飯盛町体育館で第10回ミニバレーボール大会を開催。16チーム106名の組合員と家族が参加。手に汗握る熱戦を展開。優勝は昨年に引き続き峯陽Bチームであった。



▲ミカン狩りを楽しむ参加者

大東地区労福協ミカン狩り

大東地区労福協は、はじめてのみかん狩りを実施した。参加者は、組合員家族40名の参加。美味しいみかんを沢山とり、みかん農園の芋ほりもしてそれを焼き芋にしていただいた。しづらりたてのミカンジュースもいただきながら最後に宝さがしやbingoゲームを行い、参加者は全員楽しい一日を過ごすことができた。



五島地区労福協ミカン狩り

11月23日(土)、「ろうきん下五島推進イベントくみかん狩り」と共催のもと、雨通宿みかん園にてみかん狩りを開催した。当日は、晴天にめぐまれ、300名の参加者で大いに賑わった。恒例の抽選会で盛り上がった後、みかん園へ移動し、大人も子供も袋いっぱいに詰めてみかんを持ち帰り、楽しい一日となった。

事務局だより

県労福協はボランティア活動の一環として、「書損ハガキ」を回収し、福祉団体に寄贈しています。

年賀状など、書損、不要のハガキがありましたら県労福協へ寄付してください。よろしくお願いします。



1. 九州ろうきんはシステム移行のため、2014年1月○日(水)～4日(土)に他金融機関・コンビニを含め全てのオンラインサービスを休止します。さて、何日？ ○に入る数字をお答えください。
2. 2014年2月1日を発効日とする新規マイカー共済契約より、○○つの加入引受基準改定が予定されています。○○をお答えください。

- 答えはハガキかFAXで住所・氏名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。
- 締切日は1月24日(金)(当日消印有効)
- 当選者10人の方に「お楽しみプレゼント？」をお送りします。正解者多数の場合は抽選で決めます。

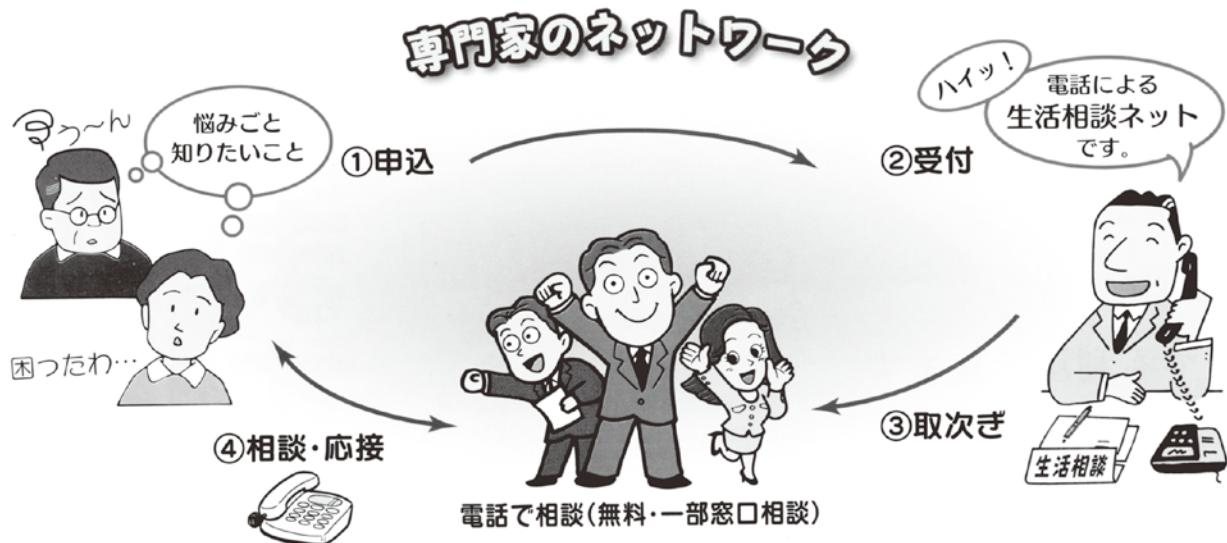
○送り先 〒850-0031
長崎市桜町9-6 勤労福祉会館内
長崎県労福協クイズ係
○FAX (095) 811-6132

○前月号当選者（敬称略）

原 和彦 (大村)	西角 宏太 (西彼杵)
河野 泉 (大村)	朝長 由美 (大村)
川崎もえみ (大村)	小林みどり (大村)
渡邊 洋子 (大村)	滝原 浩子 (大村)
池田美江子 (大村)	葉山美智子 (大村)

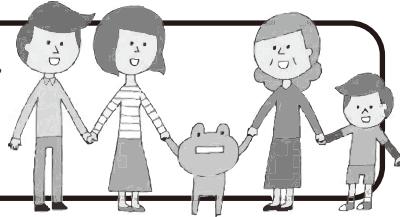
(なんと、今回は大村市からのハガキが圧倒)

**労働・暮らしの相談ダイヤルは
0120-232426 (長崎・佐世保共通)**



長崎支店推進委員会・長崎県庁支店推進委員会合同イベント

「ろうきん“大文化祭”」開催!!



11月2日(土)、ろうきん長崎支店駐車場で長崎支店推進委員会と長崎県庁支店推進委員会合同で長崎地域イベント「ろうきん“大文化祭”」を開催しました。



高校生平和大使から熱心な活動報告



会場でついた餅で祭の最後に「餅まき」しました

イベント当日は生憎の空模様にも拘らず、会員の皆様やそのご家族、地域の方々約600名にご来場いただき大変賑わいました。

会場には「出店ブース」「イベントブース」があり、「出店ブース」では推進委員の方々やろうきん職員が作ったカレーや鶏唐揚げ、たこ焼き、焼き鳥等いずれも美味で売切れが続出。他にも、ロバの会(NPO法人)の「ロバのパン」や長崎商業高校の「くじ LOVE 焼き(鯨型の鯛焼き)」出張販売も大賑わいで、綿菓子やくじ引き、輪投げや「トムテのおもちゃ箱」(NPO法人)による玩具コーナーはお子様に大好評でした。

また、「イベントブース」では2014年開催の長崎国体マスコットキャラクター「がんばくん」「らんぱちゃん」も来場、山王保育園の園児による○×クイズと「よさこいダンス」、バルーンパフォーマンスやママプラスバンド、高校生平和大使の活動報告などの催しもので大いに盛り上りました。最後にろうきん創立60年記念として、つきたての餅を個包装して餅まきをし、多くの来場者に喜ばれ成功裡に終了することができました。

当日はたくさんの方に購入協力を頂き、その結果、イベント開催による剰余金70,212円を、昨年度に引き続き50,000円を日本赤十字社へ、20,212円を高校生平和大使へ寄付することができました。

今回のイベントで得た、会員・組合員の皆様、地域の方々との「ふれあい」「つながり」を大事にし、今後も更なるろうきん運動の推進を図ります。

〈ろうきん〉ATMおよび 〈ろうきん〉カード 一時休止のお知らせ

他の金融機関・コンビニを含め全国すべてのATMで
〈ろうきん〉のカードがご利用いただけません。

お引出し お預入れ などはお早めにお願いいたします。

〈ろうきん〉ではみなさまへのサービス・利便性向上をめざして、2014年1月5日に新しいオンラインシステムへの移行を予定しています。このため、上記の日程でオンラインサービスを休止いたします。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新システム移行後も、現在お持ちの **通帳** **カード** **証券** **契約の証** **証券** は
そのままご利用いただけます。

休止するサービス	2013年12月 31日	2014年1月 1日~4日	5日	6日
〈ろうきん〉カード	通常通り	休止	通常通り	
〈ろうきん〉ATM	通常通り	休止	通常通り	
インターネット バンキング	通常通り	23:00	休止	7:00~通常通り

◎このほかに、Webお知らせサービス、ZATT(Sマツ)電話振替サービス、
デビットカードサービス、Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービスも休止いたします。

九州労働金庫 Tel 0120-776-782

詳しくは店頭またはホームページにてご確認ください。ろうきんシステム移行

受付時間
毎日9:00~17:00
土日・祝日・8月・12月31日
(12月25日~1月3日除く)



マイカー共済新規契約引受基準の改定について

【2014年1月改定予定】

日ごろより全労済の共済事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

全労済では2012年12月に、マイカー共済事業の健全性および持続的かつ安定的な事業運営を目指すため、掛金水準の見直しを含む改定を行いました。

今回は、契約者間の公平性を高めることなどを目的として、2014年2月1日を発効日（2014年1月1日以後をサービス開始日）とするマイカー共済契約より、加入引受基準の改定を予定しています。

【改定のポイント】

1. 事故有係数適用契約への対応
2. 5等級以下の取り扱いについて
3. 共済掛金口座振替特約の付帯制限の新設



＜具体的な改定内容について＞

1. 事故有係数適用契約への対応

他損保・他共済から移行される場合、「事故有係数適用契約」はご加入いただけません。

事故有係数適用契約とは…

損害保険会社では等級別料率制度改定にともない、7等級以上で「事故を起こして等級が減算された契約」と「無事故で等級が進んだ契約」とで割増引率(係数)に差が設けられています。

これをそれぞれ「事故有係数」と「無事故係数」といい、事故有係数が適用されている契約を「事故有係数適用契約」といいます。

2. 5等級以下の取り扱いについて

損保・他共済からの移行で全労済での移行適用等級が「5等級以下」となる契約について、これまで地域契約についてご加入いただけませんでしたが、事故有係数適用契約への対応にあわせて、職域契約についてもご加入いただけません。

3. 共済掛金口座振替特約の付帯制限の新設について

過去において、初回掛金後払い申し込み（月払い・年払い）で契約不成立となった共済契約者が、今後契約を申し込まれた場合は、現金契約（年払い）でお引受させていただきます。

- ① 過去の対象契約とは、新規契約と同一の共済契約者である契約です。
- ② 現金契約（年払い）による契約締結後、更新契約からは口座振替による掛金の払い込みは可能です。



保障のことなら
全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、當利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただき組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

【お問い合わせ先】下記の全労済長崎県本部各支所へ

■ 長崎支所

長崎市宝栄町3番15号

TEL (095) 864-7144 FAX (095) 862-8127

■ 佐世保支所

佐世保市城山町1番22号

TEL (0956) 25-8012 FAX (0956) 22-7292